

調達管理番号・案件名

24a00603_ケニア国気候ファイナンス推進にかかる情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式-ランプサム型))

質問と回答は以下のとおりです。

2024年9月11日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	10	第2条(1)本調査の目的	本調査は、ケニアにおける気候変動「適応」分野における対応が急務であるとしているところ、調査結果を踏まえてどのようなJICAスキーム(円借款、技術協力や民間連携等)の導入を検討しているのか？	本調査を通じて特定された気候分野における資金動員促進策を進めるにあたり必要となる「環境整備」に資する限りにおいては、調査の際において活用を検討するJICAスキームを限定しません。個別案件のファイナンススキームの提案を妨げるものではないが、適応ファイナンス分野における複数のアクターからの資金動員を推進するような方策の提案を期待しています。
2	11	第2章 特記仕様書 第3条 調査実施の留意事項 (4)関係機関へのヒアリング	プロジェクトを通してヒアリングを行う対象機関については、ケニアで活動している国際的なファンド・ドナー、公的・民間ファンド、公的開発金融機関、民間金融機関、企業等のケニア国外拠点(例えば、他アフリカ国、欧米、日本等)も候補先として挙げて良いか？ それとも、各機関のケニア拠点へのヒアリングが求められているか？	ケニア拠点のみならず、ケニア国外拠点へのヒアリングに関してもヒアリングの候補先として含めることを歓迎します。但し、実際の調査時には、第4条 調査の内容 (1)調査事項 (2)―Iにて洗い出し・分析したステークホルダーを広くヒアリング先に含めるようお願いします。
3	12	第2章特記仕様書 第4条調査の内容 (1)調査事項 1)気候ファイナンスにかかる国際潮流及びケニアの文脈・現状の把握	「(1)調査事項、1)気候ファイナンスにかかる国際潮流及びケニアの文脈・現状の把握」の最後に記載されている「適応ファイナンスにおけるプライシングの議論」とは、具体的に何を求められているのでしょうか？ (融資や損保商品等の民間資金の価格付けについてでしょうか？)	本事項の調査目的として、気候変動物理リスクの経済価値化を通じて、投資主体に対して経済合理性が生まれる投資環境を構築できないかという仮説を有しています。Global Adaptation & Resilience Investment Working Group(GARI) 'The State of Climate Adaptation and Resilience Investment' 記載のとおり、投資判断ツールとしての気候リスクのプライシングについて需要があり、格付会社等では信用力評価の一部に統合する動き等、物理リスク評価のための経済価値化の動きが確認されています。リスク評価に加えて、カーボンクレジットのように適応ファイナンスにおいてもプライシングを通じ収益化できることが理想的であり、国際的に、もしくはケニアの文脈において、関係する議論の有無、ある場合には、提案されている手法の概要を調査いただきたい。

以上